



下山小だより

身延町立下山小学校
Tel 0556-62-5107
Fax 0556-62-5388

下山小の合い言葉 あいさつ いのち うんどう えがお おもいやり

陸上記録会

6月1日に、身延町内3小学校の5・6年生が下山小校庭に集まり、陸上記録会が開かれました。開会式での子どもたちの参加態度を見て、頼もしさを感じると共に、日頃の各校の取り組みの素晴らしさを感じました。子どもたちはそれぞれの参加種目に全力で取り組みました。この陸上記録会に向けて各校で練習に取り組んできましたが、その成果が出て、自己ベストを更新した人も多かったようです。晴天の下、全力で取り組み、自分の力や友達の素晴らしさを感じた陸上記録会でした。



芸術鑑賞会

6月10日に、中部支会芸術鑑賞会が身延町総合文化会館で開かれました。令和2・3年度は実施できなかったのが、久しぶりの鑑賞です。今回は、影絵劇、音楽物語「スイミー」「モチモチの木」と人間影絵「このゆびとまれ」です。影の不思議や物語の世界に引き込まれ、楽しく鑑賞することができました。子どもたちの表情や言葉から、こういった芸術に触れる機会はとても大切だと感じました。講演料は身延町の補助金で支払われており、ご配慮に感謝申し上げます。

田植え体験

6月8日に5年生が田植え体験を行いました。昨年度からお世話になっている、松山京介先生にご指導を受けながら、田んぼに入り、苗を植えました。田に足をとられながらも、一步一步確認しながら進み、丁寧に植えていました。初めての児童も多く、貴重な体験となりました。

PTA奉仕作業ありがとうございました。

5月28日(土)にPTA奉仕作業を行いました。今年度は、コロナ対策のため、規模を縮小し、少人数で行うこととし、PTA執行部と環境安全部のみなさん、職員で校庭の草取りを中心に作業を行いました。暑い日でしたが、早朝より手際よく作業を進めていただき、予定どおり作業を終えることができました。子どもたちの学習環境を整えていただき、ありがとうございました。



金曜集会

6月3日に今年度2回目の金曜集会が行われました。5月のめあてのふり返りや図書委員会からのお知らせがありました。各学級や委員会で様々な取り組みを行っていて素晴らしいと思います。その後、子どもの読書活動優秀実践校の表彰を行いました。下山小の読書活動の実践が認められたものです。これからもたくさんの本を読んでほしいと思います。金曜集会の後、たてわり班の顔合わせの会を行いました。自己紹介とあいさつ、写真撮影をしました。楽しいたてわり班活動となるよう、力を合わせてがんばってほしいです。



委員会活動

子どもたちが、自分たちの力で学校生活が楽しく潤いのあるものとなるよう、話し合い、工夫して活動しています。放送・図書・体育・環境・保健・児童会の6つに分かれ、日々、責任を持ってしっかり取り組んでいます。



金曜集会でおもいやりについての話をしました。以下のような内容です。

6月1日に陸上記録会がありました。5、6年生がこれまでの練習の成果を発揮して、みんな全力でがんばっていました。いい記録もたくさん出たようです。記録会の最後に、どこの学校も「ありがとうございました。」と御礼のあいさつをしていました。このあいさつを聞いて幸せな気持ちになりました。「大会を開いてくれてありがとうございます。一緒に競い合ってくれてありがとうございます。」と周りの人々への思いが感じられたからです。また、先日、玄関でお客様をお送りしたとき、6年生が外から入ってきました。みんな自然に、「こんにちは」とさわやかにあいさつをしてくれました。お客さんも校長先生もとても幸せな気持ちになりました。「おこしいたきありがとうございます。ようこそおいでいただきました。」という思いを感じたからにほかなりません。

今日は思いやりについて考えて見たいと思います。「思いやり」の「思い」とは「心の中の気持ち」という意味で、「やり」とは「遣り」と書き、「行かせる」という意味です。つまり、「相手に思いを行かせる」ということから、「相手のことに親身になって気を配る」という意味になります。

思いやりとは、困っている人に優しくすることももちろんですが、それだけではないと思います。例えば、「時間を守る」ことは「相手の時間も大切にすること」になり、思いやりの行動です。「元気にあいさつをする」という行動も「相手をさわやかな気持ちにする」という思いやりの行動です。「ろうかを走らない」も、人を傷つけないための思いやりです。「トイレのスリッパをきちんとそろえて脱ぐ」というのも、「次の人がすぐに履けるようにする」という思いやりです。思いやりは相手の気持ちを想像し共感することです。どんな行動が思いやりの行動かクラスで話し合ってみてください。下山小学校が思いやりであられる学校であってほしいと思います。

文責 校長 新田 修